



Miyagi Prefectural Government

宮城県 共創促進プログラム

～スタートアップと連携し、新たな価値創出へ～

宮城県 経済商工観光部 新産業振興課

01

宮城県のスタートアップ支援の取組

令和
4年度

令和4年9月 知事・スタートアップ関係者の座談会

令和4年12月 幹事機関による準備会議開催



令和
5-8年
度

県では、スタートアップサポートメニューとして以下を展開

- ・補助金・奨励金（立地奨励金、賃料補助金など）
- ・スタートアップ育成（専門家派遣(R6~)、各種イベント共催）
- ・コミュニティ形成（テクスタ宮城、展示会出展、イベント開催）

令和
5年度

令和5年5月 テクスタ宮城 設立



東北大学発等のテック系スタートアップ支援を行うことを中心に据えたコンソーシアム。

「支援対象スタートアップ」とスタートアップに対して支援策を持つ「構成員」をマッチングすることで課題解決・事業連携を図る。

構成員132社、スタートアップ78社が加入（R8.6月現在）

なぜテック系？

…県内には大手自動車や半導体装置メーカーが集積し製造業が成長を牽引してきた。一方で東北大学はディープテックの研究成果を有する。両者は親和性が高く、連携により地域経済の新たな成長を支えるイノベーション創出を目指すため。

宮城県テック系スタートアップ 企業立地促進奨励金

宮城県では、県内ものづくり企業との大きな相乗効果が期待される東北大学発等のテック系スタートアップを支援しています。
スタートアップの設備投資にかかる費用を軽減するため、県内で新たに工場等を開設するスタートアップに対して「宮城県テック系スタートアップ企業立地促進奨励金」を交付します。

1. 交付対象となる企業 ①～③のすべてに該当する企業

- ① 「テック系スタートアップ・サポートコンソーシアム宮城」（テクスタ宮城）の支援対象スタートアップに該当する企業で、設立から15年以内の企業
- ② テクスタ宮城の構成員であるベンチャーキャピタル（VC）等から、投下固定資産の原資として新たに投資を受ける企業又は過去5年以内に投資を受けている企業
- ③ 半導体、医療、バイオ、素材、宇宙技術、電気電子技術等、特定の自然科学分野での研究を通じて得られた科学的な発見に基づく技術を用いた事業であって、



STORYLINE



02

令和7年度共創促進プログラムの取組

ものづくり企業とスタートアップとの共創 ～X Tech チャレンジセミナー～

イベント概要

日時：2026年3月3日（火）13:00-16:00（交流会16:00-17:00）

会場：仙台市中小企業活性化センター

参加企業数：45社

参加人数：71名

リバーСПitch登壇宮城県内企業：6社（うち、製造業3社）

Pitch登壇スタートアップ企業：8社

内容：特別セッション、県内企業リバーСПitch、SU Pitch、交流会



参加者の声

- ・スタートアップのPitchでは、興味深い製品が多かった（製造業）
 - ・宮城県内の企業と人的交流の接点を持て良かった（卸売業）
 - ・地元企業のことを知らなかったと痛感した（スタートアップ）
 - ・リバーСПitchでは、有力地元企業の話が大変興味深かった（スタートアップ）
- ⇒想定より多くの企業に参加いただき、前向きなコメントが多かった。

次年度へ向けて

- ・さらなる参加企業の裾野拡大と、共創事例の創出に繋げていくことが重要。
- ・県内企業の、スタートアップフレンドリーの機運醸成が重要。

⇒令和8年度は、

県内ものづくり企業×全国のスタートアップ企業 共創事例の創出へ

※令和7年度、県外の共創促進事例のリサーチ、先進地視察も行った。
（同様の事例は、国・都道府県・政令指定都市などにて既に実施。）

03

令和8年度共創促進プログラムのイメージ



専門家による
伴走支援

講題整理からマッチング、
実証まで専門家が
しっかりサポート！



参加費・支援費
無料

プログラム参加費は無料
実証経費の補助
（上限50万円/件）



マッチングから
共創事例創出まで支援

最適なスタートアップとの
共創事例創出を目指します。



成果発表・
ネットワーク拡大

成果発表会議で社外へPR！
新たなビジネスチャンスへ。

ソニー(受託者)が、
共創事例の創出まで
伴走支援します